

番外編

2023. 2. 13

Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

- 植物モニタリング活動 2/20、3/6、3/13 9:00 ため池公園スタート
 - 林の手入れ活動 3/12 10:00 大門観察台集合
 - ニリンソウ月間 2023 3/18 (土) ~4/16 (日)
期間中の土・日 10:00~12:00 大門自生地でのニリンソウガイド
期間中の毎月曜日 9:00~12:00 春の野草観察会 モニタリングと同じ時間・場所
- ★どの活動も、飛び入り参加歓迎！ 雨天は小雨でも中止

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

田遊び 自然が残るところに伝統文化も残る



2/11、赤塚公園サービスセンターの呼びかけで徳丸北野神社の田遊び見学を11名で行いました。



初春、稲作に取り掛かる前に、その年の五穀豊穡と子孫繁栄を願って行われるものです。平安時代の

文書に記録されていて、1000年以上も前から先祖代々守り伝えられてきたもので、国指定重要無形民俗文化財、板橋区無形文化財に指定されているものです。都立赤塚公園の南側の武蔵野台地崖線沿いには徳丸北野神社(2/11)のほかにも大門の諏訪神社(2/3)にも伝えられていて、この地域がいかに長い歴史を持っているのかがうかがわれます。多くの人々が見物に訪れていました。

昨年7月に成増アクトホールで開催された「板橋の郷土芸能」では出演5団体のうち4団体が赤塚～成増にかけての武蔵野台地崖線エリアの地域に伝えられているものでした。区内でも自然が良く残されている地域です。緑と文化は分かちがたいものであるという証拠が、この伝統文化に見られると言っても過言ではありません。なお、徳丸北野神社田遊び保存会は赤塚公園友の会会員です。



2/13 モニタリングは中止 ぶらり歩き会へ

先週金曜日（2/10）は赤塚公園では3cmの積雪、翌日のお昼まで残雪が地面を覆っていたので2/12のニリンソウ自生地の手入れ活動は中止にしました。2/13のモニタリングは開始時刻の9時ごろから雨が降り始めて、中止とすべきところ、参加者が5人もいたので、記録を取らない非公式の「ぶらり散歩」で城址をひと回りしてから流れ解散となりました。



雨が降って寒々しいため池は、釣り人もカルガモもない静かな雰囲気。でも、梅の花は青空を背景にしないとくっきりと見えません。この日、花をつけていた株は全体の3分の1程度、どれも幹が細い若木でした。老木になった株はどことなく樹勢が衰えているように見えました。



生物多様性保全エリアでムラサキケマン増える

「ぶらり歩き」といっても、2/10の雪で折れた枝がガマズミの木を覆っているのは気になる場所。その枝払いをしながらの散歩でした（右の写真）。



←城址北側（郷土資料館裏手）の多様性保全エリアで



「落葉樹の林の復活」のために常緑樹が伐採されてから3年目になりますが、直後はほとんど何も生えてこなかったところにムラサキケマンの葉がたくさん出ていました。



千両と万両の女比べ

並んで生えている、左がセンリョウ、右がマンリョウのそれぞれ実ですが、上を向いて実っているセンリョウの方が派手に見えます。